

令和2年9月17日会議概要

第1 日時

令和2年9月17日（木）午前9時から午前11時45分までの間

第2 出席者

渡部委員長、平林委員、長谷委員、森委員、森田委員
警察本部長、総務部長、警務部長、生活安全部長、地域部長、刑事部長、交通部長、
警備部長、警察学校長、京都市警察部長、情報通信部長等
《書記 公安委員会補佐室長、公安委員会補佐室室長補佐》

第3 議事の概要

1 報告事項

(1) 京都府警察広報センターの一部再開について

総務部長から、本日より、京都府警察広報センターを一部再開することについて報告があった。

委員から「児童に対するわいせつ事案等の発生も多いので、広報センターの一部再開を機会に、来庁した児童等に対する広報啓発もお願いしたい。」旨の発言があった。

(2) 令和2年京都府警察職員殉職者慰霊祭について

警務部長から、令和2年11月9日、京都府警察学校で執り行われる、令和2年京都府警察職員殉職者慰霊祭の実施方法等について報告があった。

(3) 京都府大学安全・安心推進協議会総会の開催について

生活安全部長から、令和2年9月18日、大学、関係機関・団体等が相互に連携し、大学生の規範意識及び防犯・交通安全意識の向上並びに、大学及びその周辺の防犯環境整備、交通安全対策等を推進するため、一部オンライン出席による「京都府大学安全・安心推進協議会総会」を開催することについて報告があった。

委員から「オンラインの会議が、今後、主流となってくるので、しっかり対応できるよう準備願いたい。」旨の発言があった。

他の委員から「大学生が被害者となる自転車盗の発生が多いので、会議において注意喚起をお願いしたい。」旨の発言があった。

(4) 「ドコモ口座」の不正利用について

生活安全部長から「ドコモ口座」の不正利用の手口、セキュリティを高めるための対策や京都府内での認知状況等について報告があった。

委員から「パスワードや暗証番号などの口座情報を盗まれないための管理が、今後の課題と思われる。」旨の発言があった。

(5) 夏期（7～8月）における水難の発生状況について

地域部長から、夏期（7～8月）における水難事故の発生状況等について報告があった。

。

委員から「騒音を出すマナーの悪い水上バイクについては、取り締まれないのか。」旨

の質問があり、地域部長から「水上安全条例により、規制はしているが、罰則がない状況である。現在、対象の地域が協議会を作り、警察もオブザーバーとして参画しているので、今後の対応策等も検討したい。」旨の回答があった。

(6) 令和2年8月末における特殊詐欺情勢について（暫定値）

刑事部長から、令和2年8月末現在の特殊詐欺等の被害状況や検挙状況、抑止対策の主な取組、特殊詐欺電話自動切断システムの開発等について報告があった。

委員から「特殊詐欺電話自動切断システムは、インターネット環境が必要なので、高齢者だけの家庭では、難しいだろうか。」旨の質問があり、刑事部長から「インターネット環境は、徐々に高齢世帯にも整ってきているので、対応できると思われる。」旨の回答があった。

他の委員から「検挙事例の出し子が女性であると伺ったが、最近の新しい傾向なのか。」との質問があり、刑事部長から「今月に入ってから、他に何人か女性も検挙している。」旨の回答があった。

他の委員から「特殊詐欺電話自動切断システムは、強力な武器となる可能性もあるので是非、推進していただきたい。」旨の発言があった。

(7) 特定抗争指定暴力団の指定期限の延長について

刑事部長から、京都府公安委員会の指定に係る、「指定暴力団六代目山口組」の指定期限の延長について説明があり、審議の上、了承した。

委員から「完全に抗争がなくなるまで、指定期限を延長する必要がある。」旨の発言があった。

(8) 公安条例の申請許可状況について（8月分）

警備部長から、令和2年8月中に受理した「集会、集団行進及び集団示威運動に関する条例」に基づく、デモ行進の許可申請に係る、専決事務の処理状況について報告があった。

(9) 初任科第254期（短期課程）卒業式の実施について

警察学校長から、令和2年9月29日、警察学校で実施する初任科第254期卒業式の実施概要、参加者、入校中の教養状況等について報告があった。

委員から「コロナ禍であったが、学生の武道の段級審査は別途するのか。」旨の質問があり、学校長から「審査はできなかったので、一線に配置後、または、4箇月後、初任補修科で入校した際に、訓練内容が緩和されていれば、段級審査を行うこととなる。」旨の回答があった。

他の委員から「コロナ禍という大変厳しい環境下で、初任科の教養ご苦労様でした。」旨の発言があった。

(10) 自治体と連携した治安対策の推進について

京都市警察部長から、京都市と連携した治安対策の推進状況や治安に関する協定の概要等について報告があった。

委員から「市との協力体制は、どうなっているのか。」旨の質問があり、総務部長から「防犯対策、交通安全対策に関しては協力体制は、しっかりとれている。厳しい予算の中で、京都市から防犯カメラに予算を出してもらい、それによって、刑法犯認知件数の減少、犯人検挙につながっている。」旨の回答があった。また、地域部長から「協定ができて

からは、各区が競い合うくらい協力的である。」旨の回答があった。

他の委員から「公安委員として通学路の防犯の問題など、いろいろなことに関して、教育委員会と会合を持ちたい。」旨の発言があった。

他の委員から「自治体との連携は、継続してやってきたことで、このように成果が上がってきたと思う。」旨の発言があった。

(11) 監察案件

首席監察官から監察事案について報告があった。

2 追加報告について

(1) 顔認証システムの概要について

刑事部長から、犯行現場の防犯カメラ等で撮影された顔画像について、過去に逮捕した被疑者の顔写真データベースと照合する「顔認証システム」の概要等について報告があった。

委員から「京都市内の防犯カメラを一元化して警察で見られるようにできないか。警視庁はできていると伺っている。」旨の発言があり、本部長から「それは警視庁が設置した繁華街の防犯カメラと思われる。警察設置以外のカメラの一元化については、プライバシーの問題などがあり、議論が必要と思われる。」旨の発言があった。

(2) パトカー追跡車両によるひき逃げ事件の検挙について

交通部長から、交通捜査課、川端・東山警察署は、令和2年6月21日に東山署管内で発生した、パトカー追跡車両によるひき逃げ事件について、本日、京都市在住の男2人を検挙した旨の報告があった。

3 決裁事項

(1) 公安委員会宛て苦情等申出について（受理1件）

公安委員会補佐室室長補佐から、公安委員会宛ての苦情等申出に関して、受理の報告があり、処理方針を決定した。

(2) 警察署協議会委員の解嘱・委嘱について

広報応接課担当補佐から、京都府南丹警察署の協議会委員が辞職を申し出たことに伴い、当該警察署長から委員2人の解職及び後任者2人の委嘱が上申されたことについて説明があり、審議の上、決定した。

4 個別報告

当面の行事予定等について

公安委員会補佐室長から、次回の公安委員会定例会議及び出席予定行事等について報告があった。

5 聴聞関係

運転免許関係行政処分について

交通部聴聞官から、道路交通法の規定に基づく運転免許の行政処分に係る聴聞、意見聴取の結果について説明が行われ、審議の上、15件の行政処分を決定した。

6 公安委員追加コメント

委員から「インフルエンザの予防ワクチンについては、政府方針として高齢者優先となると伺っている。発熱したときに、新型コロナウイルスかインフルエンザか分からないようでは、対応が遅れると思われるので、全警察官が早めにワクチンを接種できるように考えていただきたい。」旨の発言があり、警務部長から「厚生課で検討したいと思う。」旨の発言があった。

7 本部長総括報告

本部長から、「現在、コロナ禍の関係で警察行事や会議等について、中止や延期、実施方法を変更するなどして対応しているが、今後は、対策を講じた上で問題ないものについては、少しずつ本来の形に戻して、対応したいと考えている。」旨の報告があった。